

# 第20回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

## ◇卒塾生の感想文より

NO	1
----	---

### 1 リーダー養成塾を受講して

この日本の次世代リーダー養成塾2週間参加して成長した事は2つあります。

一つ目は人間関係です。僕たちはハイスクール国会という企画を行いました。それはクラスが一つの「党」となってこれからの日本のために必要な事を話し合い、政策として提案するというものです。その中の議論はとても白熱したものとなりました。

時には言い争いになる事もありました。しかし、同じクラスなので一緒に生活を送るためにはずっとバチバチのままでは難しいです。そのため、議論の後にはノーサイドで関係をもっと深めていくことの大切さを学びました。

二つ目は緊急事態の時についてです。2週間の間で多くの人がコロナウイルスに感染し、対面で講義を受けられない人が出てきました。言わばクラスターのような状況になりました。そうなるとうまくスケジュールが毎日どころか5分前に言っていたことが変わるような緊急事態です。僕たちを支えてくださった大学生の学生リーダーさんたちの中でも情報が食い違っている中でこういう時こそリーダーの判断力が大切だと思いました。

### 2 印象に残った講義とその理由

僕が印象に残った講義は米中関係についてです。今現在、民主主義が衰退しており、実質的に民主主義国家が半数以下です。そんな中で対立では社会問題が解決できない。解決するために必要な考え方として教わったのは

- ・何を守りたいのか
- ・何から守るのか
- ・何で守るのか

というものです。僕は今まで外交にあまり興味がなかったけど、講義を受けてこれからの日本、世界のためには必要不可欠な学問だということがわかりました。これからの世界情勢に注意を払って、ニュースを見ていきたいです。

### 3 今後のわたし

まずは若者の投票率を上げる活動をしていきたいと思っています。先ほども話したハイスクール国会でとても議論になった若者の意見をどう政治に反映させていくか、それを頑張っていきたいです。また、学校生活では特に話し合いの時にあまり進まないことがよくあるのでそんな時はなぜこの話し合いをしているのか、何をしたいのか、誰のためにやっているのかなどハイスクール国会で大切にしてきた事を生かしていきたいです。

大学では学生リーダーの方が政治学や法学は今の社会を幅広く学べるとおっしゃっていたのでそのような道に進み地元のため、日本国民のために働けるリーダーになります。

## ◇卒塾生の感想文より

NO	2
----	---

### 1 リーダー養成塾を受講して

リー塾に参加する前は、行くと決めたものの2週間家を離れるため寂しいという気持ちが大きかったです。でも実際に参加してみて、本当に参加することができて良かったと思いました。私がリー塾に参加して、良かったと思える理由は大きく分けて2つあります。

一つ目はたくさんの素晴らしい方々の講義を受けることができたことです。地域のことから世界のことなど、さまざまな分野に関する講義を受けたり、理想のリーダー像についてのお話を聞いて、いろいろな考えを持つことができました。将来、やりたいことが曖昧な私にとってはいろいろな分野のお話を聞いて、しかも自分が気になったことは質問が出来たので、さらに講義への理解を深められたのだと思います。

二つ目は住んでいる場所も性格も全く違う人たちに出会い、交流をして視野を広げることが出来たことです。時には多くの人が自分の将来やりたい事を決めていて、少し置いて行かれたような気持ちになってしまったこともありました。でも、リー塾の人たちは何故それを将来の夢として追って行ってるか話してくれ、そのような意思の硬さになるくらいの将来の夢を持ちたいとおもうようになりました。

また、ハイスクール国会では、ひとりひとりがきちんと自分の意見をしっかり持っていて、どの意見にも共感することの出来るような部分があり、また、自分が考えていたことのさらなる上の考えを持っている人もいて、すごく自分の視野が広がったと感じました。二週間というとても長くきっちりとしたスケジュールでとても大変で、上手くいかないこともあったりしたけれどみんなでたくさん考えて、笑って泣いて、本気で気持ちを伝え合うことができて、ほんとうにいい経験でした！

### 2 印象に残った講義とその理由

#### 佐賀県知事の講義

話し方がすごく聞き手を引き込むような話し方ですごくいいと思いました。どの政策も面白くて斬新だと感じました。特に政策の結果として驚いたのは、男性の育休取得率を上げるための方法として、昔は育休を取得する人が申請していたけれど逆転の発想で育休を取得しない人が申請するというようにして、佐賀県に住む男性の育休取得率を100%まで上げてとてもすごいと思いました。この逆転の発想は日常生活で奥さんと話しているときにたまたま出てきたと伺い斬新なアイデアこそ何気ない日常からふと思いつくこともあると思うので、日頃から会話を大切にしていきたいです。

### 3 今後のわたし

今後、私は以前よりもっと相手とのコミュニケーションを綿密にしていきたいです。ハイスクール国会での話し合いの時、意見の食い違いが起きてしまった時がありました。でも、その時に一旦クラスの中でそれぞれが意見をぶつくとクラスはいい方向に向かっていきました。だからこそ相手と上手く話したり、話し合いを円滑に進めるには相手との綿密なコミュニケーションが大切なんだと感じます。

また、私のクラスの学級委員の人は自分よりも相手を優先するほどのひとで、クラスの人たちからとても信頼されていました。それは、そのひとがクラスのみならずよくコミュニケーションをとっていたからだと思います。日頃からいろいろな人と活発なコミュニケーションをとり、意見がぶつかってしまう前にいろいろな物事を解決していきたいです。私は自分の思っ

いることをすぐに口に出してしまうため、「今これを言われたら相手はどんな気持ちになるのか」と、相手の立場に立って考え、口よりも先に頭が動くようにしていきたいです。

また、時間厳守で動くことも続けていきたいです。時間を守ることは当たり前には出来ないといけませんが、きっちりと予定が詰まっていたリー塾では、きっちりと詰められている中での5分前行動で、時間がぎりぎりになってしまうことも多々ありました。時間が少しでも遅れてしまうとそのあとの予定も少しずつ削られていき、もともとあったはずの休みがなくなってしまうこともあります。そのせいで外部の人に影響を与えてしまうこともあるかもしれません。そのようなことを防ぐためにも時間厳守で行動できるようにしていきたいです。

#### ◇卒塾生の感想文より

NO	3
----	---

##### 1 リーダー養成塾を受講して

私は、日本の次世代リーダー養成塾を受講させていただき、参加する前と後では見える世界が変わったと思います。初めは仲間たちと馴染めるのか、自分も討論にしっかり参加出来るのか不安がありましたが、とても良い方ばかりで直ぐに打ち解けられたので良かったです。

ハイスクール国会の討論では、国内外問わず色々な方々と普段よりも一歩踏み込んだ熱い話し合いが出来ました。この2週間はとても刺激的で忘れられない経験となりました。

また、自身の得意分野とする防災関係の知識を活かした事がとても嬉しかったです。そして受講中、体調不良により一時休養を取らなくてはならない時がありました。その際は、事務局の方々や仲間たちにご迷惑を掛けてしまい、申し訳ない気持ちで一杯でしたが、復帰して再度合流した時に、皆さんが優しく迎え入れてくれたので本当に嬉しくて感謝の気持ちで一杯でした。この養成塾で出会えた素晴らしい仲間たちと、今後も交流を重ねていき共に成長していけたらと思います。「成長・発見・出会い」の場となる機会を与えて頂き、本当にありがとうございました。

##### 2 印象に残った講義とその理由

印象に残った講義は、長崎大学熱帯医療研究所の山本太郎先生と、ロシナンテス理事長の川原尚行先生の講義です。双方ともに現地へ行かないとわからない生々しい実情を講義していただきました。災害や紛争時の、医療・物資支援などの大切さを学ぶことが出来ました。

その中で、川原尚行先生の「今までやってきて、頑張ってた良かったと思える瞬間とは、喜びも悲しみも共に分かち合える瞬間だ」という言葉が心に残っています。

一方的に物資を送る支援だけではなく、受ける側の立場になって、相手に寄り添うことが大切だと教えて頂きました。寄り添う事により本当に必要な支援が行えます。

支援をする側も受ける側も、双方の立場に立って、お互い様の精神をもつことが大切だということも学びました。

##### 3 今後のわたし

リーダー養成塾の経験で、今後活かしたいと感じた事が3つあります。

1つ目は、自ら気付いて先を見据えた行動をすることです。今までは、親や先生から言われてから行動に移す事が多かったのですが、リーダー塾では自ら考えて行動しなくてははいけません。その経験で、今までの自分をもっと変えなくてはいけないと思いました。今後は普段の生活から見直して、自分で考えて行動するように心掛けます。

2つ目は、英語力やコミュニケーション能力を身に付けることです。私は、英語を聞き取る事が精一杯だったのに対し、他の塾生は内容をよく理解し英語で質問をしていたので、英語力

の乏しさを痛感しました。今後は更に国際化が進み他文化と接する機会も増えてくると思います。単語や文法を覚えるだけではなく、英会話も身に付けていきたいです。

3つ目は、傾聴することの大切さを感じました。ハイスクール国会の政策立案の際に、様々な意見を出し合い議論し合う事で、良い政策が立案でき達成感を味わう事が出来ました。自分の考えだけに執着せず、自分と違う意見にも耳を傾けて、相手の立場になって考える事も大切だと思いました。そして、自分の意見も相手に分かり易く伝え、話し合う事が大切だと思いました。リーダー塾の経験を活かし、将来に向けて成長出来るよう頑張ります。

#### ◇卒塾生の感想文より

NO	4
----	---

##### 1 リーダー養成塾を受講して

たった2週間で、一生の友達にも出会え、自分に足りないものを見つけ、叶えたいと心から思える夢が出来て、とても充実しすぎた340時間でした。自分を大きく変えることできたと感じています。同じ24時間でも学校に通って家に帰りスマホを触りなんとなく終わっていく1日とリー塾で過ごす1日とでは、24時間の濃密さも満足度も180度違いました。

もちろん楽しいことばかりではなく、全員が本気だったからこそ衝突することも、壁にぶつかり何度も心が折れそうになった時もありますが、どんな時も隣を見れば気持ちを分かち合えて、本音で語り合える友達がいてくれたからこそ乗り越えることが出来ました。リー塾で出会えた一生の友達のおかげで長すぎると思っていた2週間もあっという間に終わり今は、リー塾ロスになっています。リー塾を通し学び、身につけた思考力やリーダーとしての心構え、友達、行動力などすべてが一生の財産です。

##### 2 印象に残った講義とその理由

私が印象に残った講義は、国境なき医師団の村田先生のご講義です。もともと、国際医療に興味があったので、村田先生のリーダーとして大切にされているリーダーシップはポジションではなくアクションであるという考え方をはじめ世界における医療の在り方など私たちに教えてくださった1つ1つがとても興味深かったです。

特に「日本に生まれて夢を描かない、追いかけないのはもったいない」という言葉が心に残りました。世界には夢を叶えたくても叶えられない子どもがたくさんいるという現状をより現実的に知ったことで、今自分がリー塾に参加できていることが当たり前ではないということに改めて、強く実感しました。だからこそ、私は夢をしっかりと持ち続け確実に叶えるために、誰よりもまっすぐに努力できる人でありたいと決心することができました。

また、タイの元財務大臣のタノン・ビダヤ先生と元日銀総裁の黒田東彦先生のセッションもとても心に残りました。黒田先生に質問もさせて頂くことができ、忘れられない時間となりました。質問させて頂いて、私は、ニュースにおいても、リーダー像においても表面的なことしかとらえられていないのだと気付かされました。物事の本質こそが重要であって、起こることすべてに意味があるのだということを実感できたとても大切なことを学ばせていただいた時間になりました。

### 3 今後のわたし

私はリー塾を通して自分の夢が明確になりました。私は、将来誰かにとってのロールモデルとなれるような強くて優しい芯のある女性になることです。具体的には、フライトナースになることです。自分らしい国際交流を通し日本と各国を繋げながらも、看護師として世界中の子どもに寄り添い、助けられるようになりたいです。

そのために、留学をして自分の語学力をさらに上げていくとともに国際的な広い視野を身に付けたいと考えています。留学を通し世界の舞台でも友達を増やし、自分の小さなコミュニティーを大きく広げていきたいです。

また、リー塾から帰ってきてわたしは学生団体を立ち上げました。

“地球も人間もオシャレに”というコンセプトでエシカルコスメやエシカルファッションに注目し、世の中に発信したり、実際に企業訪問をしたりして最終的には自分たちでブランドを立ち上げ商品開発がしたいと思っています

リー塾で出会ったかけがえのない仲間と共に日本の未来が少しでも明るくなるように今自分たちができることを取り組んでいこうとおもいます。

#### ◇卒業生の感想文より

NO	5
----	---

#### 1 リーダー養成塾を受講して

リーダー養成塾を受講して、いろいろな人との関わりを通して、視野が広がりました。

リーダー塾に参加する前は、何かに挑戦することはあまりなく、自分がやらなければならないことだけを日々やっていました。しかし、リーダー塾で出会った仲間は、それぞれが将来の夢や目標をもってやりたいことに挑戦しており、その姿に憧れをもちました。その仲間たちと2週間一緒に過ごしたことで、自分はこれから何がやりたいのか、どのような自分になりたいのかを深く考えることができました。そして、私も、自分の理想像を実現するために、自分のやりたいことにどんどん挑戦していきます。

心から尊敬できるカッコいい仲間たちに出会えたことに感謝しています。

#### 2 印象に残った講義とその理由

私が一番印象に残った講義は、沈壽官さんの「伝統を守り、現代を表現する」です。

沈壽官さんは、薩摩焼の十五代目で、焼き物を作っています。講義では、作品を制作する中で大切にしていることや、沈壽官さんのルーツなどを聞くことができました。

私も、作品を制作する機会が多いので、お話の中で共感できる部分が多くありました。例えば、作品を制作するにあたって、今の時代はイメージなどをインターネットで検索することができますが、自分がそのテーマに対してどのようなイメージを持っているのかを自分で考えることが大切だということです。

私も、今後作品を制作する時には、どうやってそのイメージを表現したいのか、まず自分で考えることを大切にしていきたいです。

### 3 今後のわたし

私は、今後、美術を通していろんな人とつながりたいと考えています。その目標を実現するために、いろんな人とつながる機会を、自分から作りたいと思っています。自分の個性を出せる美術だからこそ、たくさんの人に美術に触れる機会を提供したいです。

このリーダー養成塾では、人と関わることの楽しさや、自分から行動することの大切さを学びました。自分の目標を実現していくために、自分自身と向き合って、やりたいことに挑戦し続けられる自分になりたいです。

#### ◇卒塾生の感想文より

NO	6
----	---

#### 1 リーダー養成塾を受講して

私が日本の次世代リーダー養成塾を通して思ったことは2つあります。

まず1つ目は、楽しかったということです。初めは2週間という比較的長い期間スマホなし、初めましての人たちばかりという環境に飛ばされることへの不安がありました。しかし、塾に関わる人たち全員がとてもフレンドリーで話しやすく、すぐにリー塾にもクラスにも慣れることができました。その後、クラスのみんなのことを少しずつ理解し合い、最終的には今の私が通っている学校のクラスくらい居心地が良いと思えるほどでした。

2つ目は、自分の視野がどれだけ狭いのか気づかされたことです。私の通っていた中学校は県内でもトップクラスの全校約1000人の生徒数を誇りました。さらにそのうちの約3割である300人はフィリピンやブラジルを主とした外国籍の人でした。そのため、私は勝手に人よりも客観的な視点から見るのが得意だと思っていました。しかし、いざリー塾に行ってみると6~7割が海外経験のある人で、英語を話すことができ、自分では思いつかないような奇想天外なことをいう人も多く、国家資格を取得している人もいる状態で、どれだけ自分が何も知らなくて未熟なのかを思い知らされました。だから、私は私のできることをし、人の良い所を自分にも活用できないかと考え、行動することができました。

#### 2 印象に残った講義とその理由

私が印象に残った講義はタイの元財務大臣であるタノン・ビヤダさんと元日銀総裁の黒田東彦さんによる『20年後の日本と世界はこうなる~次世代リーダーが果たす役割~』です。印象に残った理由は、挙手して当てられ質問をしたからです。質問前の講義もとても興味深くおもしろかったのですが、自分の「今の日本のリーダーに足りないこと」という質問に対してタノンさんは素晴らしいと言いつつ、お二方とも同じように「海外との関連性や理解・認識、周りを見る力が他国と比べて低い」と言われました。このことを聞き、1の回答でもあったように自分が海外や周りを見るのが甘いと気づかされたことは私だけではなく、他の人も同じ状況で、他の人もそのように考えているのだと思いました。このことから、自分は今後どのようなことをして、今の日本のリーダーの現状を変えていくのか真剣に考えていくべきだと思いました。

だから私は、『20年後の日本と世界はこうなる~次世代リーダーが果たす役割~』という講義が印象に残りました。

### 3 今後のわたし

私は日本の次世代リーダー養成塾を通して、今後、自分の夢であるモータースポーツのエンジニアになりたいという気持ちが強くなりました。その夢の実現のためにやっていることは大学へ行くために勉強と少しの調べ学習です。しかし、リー塾生がやっていることはそのようなことだけではありませんでした。自分の夢の実現のために、学生政治団体に入っていたり、防災の国家資格を取得していたり、短期留学していたりとこれも私と比にならないほどの差がありました。

そのため私は、友達の誘いの元、仲間とともに学生団体を創設することにしました。この学生団体は、起業家になりたい人にフォーカスを当てて、さらにそれをサポートしたい人たちが事業をやってみるといえるものです。まだ、始めたばかりなので成功するかはわかりませんが、この挑戦をしたことで自分の知らない社会問題に出会うことができました。また、様々な視点から物事を考えることができています。

また、このリー塾を通して新しくできた友達・仲間を大切にすることでも学びました。仲間たちとの絆を大切にすることで、長く続く友情を築くことができると思います。お互いを理解し合い、助け合い、支え合える関係は何があっても貴重です。

このようなことを踏まえて私は今後、1つのことに対して第三者目線までのさまざまな視点から見て、自分に今何が足りていないのかを考え、自分の将来の夢であるモータースポーツで世界を股にかけ、世界トップエンジニアになるという夢を叶えていきたいです。

#### ◇卒塾生の感想文より

NO	7
----	---

##### 1 リーダー養成塾を受講して

講義も勉強になりましたが、一番勉強になったのは、同世代の子達と2週間一緒に生活したことです。スケジュール管理や洗濯など全部自分でやらなければいけません。スマホなしで過ごさなければならず、世界で何が起きているか、極端な話をすれば翌日の天気さえも分かりませんでした。自分から情報を掴みにいかないと次の行動がとてもしにくかったです。大変ではありましたが、それが楽しかったです。スマホ頼みにしすぎず、自分の力で情報を手にする事の重要性を感じました。

また、参加者は、高校1～3年生までいましたが、年齢や学年、性別は関係なく、同じ仲間として過ごしました。留学に行って1年分学年が違う子もいましたが、そんなことは何も関係ありませんでした。気を遣って敬語を使うことなく、みんな同じように接し、意見を言い合いました。参加者のみんながきっとそうだったと思います。

そんな仲間達から大きな影響を受けたことがあります。それは、留学したことがある子が参加者の三分の一で、留学したいと思っている子がほとんど全員だったことです。また、講師の先生の多くが、英語でコミュニケーションを図ることや、海外の動向に注目することの大切さを話してみえました。活躍している人、この先活躍していく人は、日本だけでなく、外を見ているのだと思いました。私はあまり外国に関心がなく、世界について知っていることも少なかったため、遅れていると感じました。まず世界について調べることから始めようと思います。仲間と出会い、自分が持っていなかった視点を持つことができ、参加して本当に良かったです。

## 2 印象に残った講義とその理由

印象に残った講義は二つあります。一つ目は第十五代沈壽官先生のご講義です。特にイタリアを訪問された時のお話が心に残っています。中学校の頃から将来を左右する進路選択を迫られるということです。そして、高校では仕事についての専門的な勉強をする、そこで違う道に進みたいと思う人や、深い学びをしたいと思う人は大学に行くという、日本と違う教育のシステムを初めて知りました。今、自分は明確に進路が決まっていないので、小さい頃から自分に合った目標をもち、学べる教育はとてもいいと思いました。

二つ目は、稲富幹也先生のご講義です。燕の巣を使った商品を開発、販売する会社の社長で、その前に別の会社の社長もしてみえましたが、辞められました。金を追って、夢を追っていない自分に気付いたと言ってみえました。私は、起業家としての成功はお金を稼いで会社が繁栄することだと思っていました。しかし、「誰も登っていない山に登りたい」という思いで前の会社を辞め、現在成功してみえるので、やりたいことと経営を両立できることがすごいと思いました。そこには、「固定概念に捉われない」「迷ったら後悔しない道を選ぶ」という考え方があり、私もそういう人がリーダー（社長）ならついていきたいと思いました。

## 3 今後のわたし

夢をもっている子や、夢を探している子がたくさんいて、とても感化されました。自分も頑張らなければと思いました。今年は高校3年生で、大学に進学したいと思っているので、まず受験勉強を頑張っていきたいです。大学でも、共に成長し合える仲間に出会えたらいいなと思います。

また、出会った仲間は、一人一人が考え方の「芯」を持っていました。私も自分の芯をもてる人になりたいと思います。そのためにこれからもいろんな人に出会い、凝り固まった考え方にとらわれず、どんどん自分をアップデートしていきたいです。